

感想

毎朝、私たちの家に届けられて  
いる新聞には、たくさんの人  
が関わっていることを知った。  
記事を選ぶ時など、話題は  
なっている記事かどうかなどを、  
大量の言記事の中から選んでいて、  
大変だと思った。何が何でも  
現場に行き、正確な情報  
を伝えることは、私たちに  
とってもとても重要なことだと思えた。

感想

新聞がどうやって作られて  
いるのかを知ることができ  
よかったです。  
記者たちからその苦労や、  
大変なこともあるんだよ  
と思いました。

感想

神戸新聞が出来上がるまでの過程  
をビデオを見ながら詳しく教えて  
もらえて良かった。新聞の必  
要性だったり、信頼性を改  
めて感じ取ることができた。  
新聞記者の大変なところを  
たくさん教えてもらった。  
講義を普通に楽しめて、  
あっという間に終わってしまった。  
とても有意義な時間だった。

感想

講義を聞いて、新聞記者は読者に正確に  
わかりやすい情報も伝えるために様々な工夫を原  
稿を書き上げたり、突撃取材に行くなど、  
水も汗もかきながら、人々の人生として丁寧に扱う  
など、「新聞」という情報手段に情熱を持  
って一生懸命取り組んでいるというところが  
わかりました。僕は、そういった視野  
をたくして相手に十分配慮することから  
できる方に協力していきたいと思いまし  
た。

感想

新聞の作りかたを知れた他、  
阪神・淡路大震災でどんな  
ことがあったのか、そして  
今現在コロナで日本社会  
世界はこうなっているのか。  
いかに新聞の情報が豊富で  
信頼性があるのかを  
知れた。

感想

正直、神戸新聞を読んだことが  
両手にも満たない教しかたな、た  
人ですか、これを機に少し手に取  
てみようかなと思いました。新聞  
を作る方法を全然知らなかった  
ので、聞いていて楽しかった  
です。今はコロナの時期で、コロナ  
の記事が多いことは予測がし  
きましたか、60ほどの量がある  
とは思っていませんでしたので、驚き  
ました。

とておもしろくて  
しんぶんは  
大変だ"と思い  
ました

「写真が大切」、

「上可を助けるよりも写真を撮る(記者)のを優先した=女性の記者」

というのを聞いて、

新聞記者の方々は

"情報を伝える"ことに命を

懸けているんだ"と感しました。

藤丸 和佳奈

### 感想

新聞は おもしろいと思いま

私がいまだに知らない世界の事も

たくさん知ることができました。

新聞 いつもはあまり読む機会が

あまりないけど、また読んでみた

と思いました。

コトの中で自分たちが できることを

改めてみつけていこうと思いました。

### 感想

新聞には 記者や編集者だけでなく

校閲や印刷する人など いろいろ

の人が関わって 出来ているんだと

思った。

### 感想

これまで、新聞社で働く人達

が どういう理念で 仕事をして

いるか 知りませんでした。が、

今日は そのことも知れたし、今の

エッセンス がよくわかりました。

新聞を読む時は 今日聞いた

ことを意識して 読みたいです。

感想

私は、今まで新聞の作り方をあまり知らなかったのですが、今回この作り方を知らせて、正確な情報も伝わるように作るの工夫がなされていることを知りました。新聞の情報の正確さは、ネットよりは確実に高いと思うので、確実に見比べて、ちゃんとしたメディアリテラシーの力を付けていきたいです。

感想

私の家でも、今神戸新聞をよっています。やはり地方紙はゴロとていう一つの大きなテーマにおいても私たちに直接関係あるようなことかたささんのっています。それは生の声もあって、事実をけでよくそれを決める生の声の重要性を感じました。そして改めて新聞の役割と重要性を考えられました。

感想

- ・言われなければ知らなかったことも、丁寧に教えていただいた。
- ・記者の大変さや現状を詳しく教えていただいた。

感想

実際に新聞に関わる人の話を聞いて、毎日神戸新聞をよっています。どんな風に毎日あんな量の新聞を作っているのか気になっていたのが良かったです。

感想

新聞がどまる工程が新聞にと、何が大事なのかを知ることができました。講師の方の話がおもしろかったです。ありがとうございました。

感想

初めの自己紹介の時ですごくいる人なことがあったんだなと思いました。今回のお話の中でも、どうやって新聞の作成するかという記事に付するのはごんたのたのかというお話も良かったけれど、一番印象に残ったのは震災のお話で今までに聞いたことのないお話も何個かあった。改めて聞くことができて良かったです。僕は普段あまの新聞を読んではなかったけれど、今日教わった事を活かして書いてみたいと思います。

感想

私は朝の時間にあまり余裕が  
ない。帰宅後、記事が目  
にとまった時、新聞を語らね  
ば、この場合でも中のページに  
まで目を通すことがありません。  
ので今日は「新型コロナ」という  
単語のみに限り新聞を流し  
読みするという行為かとして  
新聞味に落ちました。

私の家は神戸新聞をとっているの  
びょうびの医療を今度旅に訪う頃

今日は貴重なお話を伺い、ありがた  
うございました。新聞社ということで  
時事的な  
コロナウイルス、1.17の話題を絡め  
たお話を伺いました。これはお話の中  
で何度も出てきた「生の前に耳を傾ける」とい  
うことは、何かに対する理解を深めるという点で  
私たちの日常生活にも応用が効きま  
す。だと思つたので、活用しようと思つた。  
本日は貴重なお時間を頂き、誠にありが  
たうございました。

いつも読んでる神戸新聞  
が何となくかいてる感じが  
とても興味深く、何故あんなに  
文章が分かりやすいか  
よく分かりました。

感想

新聞を語る側の視点でなく、作る側  
の視点から今日見られた、思ひます。新聞を  
作り、出版するまでの過程で、西に慮れ  
る点が多くあるのを感じました。其、新聞はた  
だ出来事の報告や伝達だけの用途として  
見ていたが、今日の探究の日から、大変  
なことが起った時に、新聞というのは、  
正確で短い情報に力加しをあげ、  
読者の気持ちや落胆してしまつた時、  
暗闇が希望をくれて見出せるきっかけ  
になると感じました。新聞の特徴や  
役割から、それに人々の命や人権を守  
るという気持ちが文字越しに見  
られる視点に変化がきました。

感想

HP用の写真を撮るといふ貴重な  
経験をさせていただきありがとうございます。  
今直面しているコロナ禍のことや阪神  
淡路大震災時の新聞の写真を眺め見せて  
いただき、説明もしてくださつたので、とても  
勉強になりました。  
また、新聞ができた過程にたこの過程  
が、記事を書く上での意識すること  
など知られておりました。  
新聞を構成するいくつかの特徴も、言わ  
れずまで気づき意識してはなかつたが、根本  
にやらなければならないことに向つては  
こころから少しづつ新聞を語らしてみよう  
という気持ちになりました。

限られた時間の中で、取材を、  
し合ひ、印刷し、朝には新聞の手に  
触れるのが大抵で感、  
命や人の暮らしを守ること  
にこそ、何かの年代の中には  
きつていはいは世の中が起  
てて、テレビの番組も載  
し何かのために伝える  
しければ、例えばこの時期  
特集もあつた。大震災の  
も気がつくかもしれない、  
だけ希望を打ててくれる  
普段はテレビのニュースで  
「世の中を知る」の  
「世の中を知る」(これは新聞  
も読んでみるのもアリかと  
思ひました)

感想

普段届く新聞がどのような過程で  
どういった人々によって作られている  
のかを知ることはできてよかった  
と。震災から20年ほど  
たつた日々の出来事を取りあけてい  
る神戸新聞の新聞へのこだわり  
から新聞のデザイン、レイアウトまで  
たかさんの新事実を見ることが  
できました。今後新聞を読むときは  
新聞製作者の伝えた意図をきちんと  
受けとってほしいです。

感想

運 今現在、世界が混乱している中、  
正しい情報が求められているので、  
音がある、信頼されている新聞が  
必要なんだと思いました。  
3 採集、メディア関係の仕事に就くこと  
が夢なので、「正しい情報」という  
ことを一番大切にして頑張りたい  
です。

感想

自分は社会の先生になりたいので、  
もっと社会のことについて知りたいから  
今回はこの神戸新聞について探究  
をしました。あまり取材とかの裏方につ  
いて知らなかった自分がコロナと、  
阪神・淡路大震災について新聞社の  
目録から知ることができてとても  
役に立つになりました。そんな中でも一  
心に写った言葉があってそれは、  
「そんな言葉を知ることが大事」  
当たり前だけどすごく大切なことだ  
なと思いました。

感想

新聞は毎日毎日作られているの  
に、作るのにあんなに労力、時間  
が使われているという事が想像以  
上だ。関わっている人全てが、プロ  
フェッショナルでないと、成り立たな  
いんだなと思った。新聞記者にな  
りたいと思った事はなかったけど、  
興味を持って読んでみたかったと思  
った。記者についてだけでなく、  
この一年間起こったたかさんの出来事  
を一覧でき、世間を知る事が楽し  
かった。

新聞の背景には、沢山の  
工夫と人が関わっている  
のだと思いました。新聞の  
特徴は、他のメディアには  
ない大きな魅力だと思いま  
した。生の声に耳を傾ける  
ことで、もっと情報が伝わり  
のだと思いました。

初めて新聞記者の人が話を聞  
いた。主にコロナと震災に  
ついては、たか、新聞のことで  
のこと、特にお子、お孫さんとも  
関わりが深い程馬場さん。た  
か、ポイントの情報量が  
多すぎてよく分からなかったことが  
所々ある。

神戸新聞は普段から身の回りにあるはれて、端から端まで細かく見た事はほとんどなかったけれど、新聞は読む人に伝わりやありように考えて作られている事を知って改めて親身にしっかり読むつもりになりました。

新聞という紙にのびたニュースがその様にして、この新聞になるのかがわかりました。僕達の神戸新聞という地域により添った新聞が、とても好きな新聞という情報を得る事が大切だと思います。

新聞を紙の上でなにが大切か、かいている人が何を伝えたいか、知る事ができると、これからの自分か新聞を読むときの読み方が変わった気がしました。

神戸新聞ができてきたまでの過程をビデオを見て、取材や原稿を書いたり、その原稿を42センチの印刷したりとすごく大変な仕事だと思った。

新聞のことをたくさん知れて、少し興味がもてたので、家に帰って読んでみたいと思った。

新聞の特徴が作られる過程など詳しいことが、知る事ができたので、とてもよかったです。ほくの家の新聞をとっているのを、また読んでみたい。

今日のお話を聞いて、震災のときでも仕事を最優先してなければならぬ新聞記者の方の大変さを知ることができました。

2011の中で、新聞は意外にも信頼性  
があり、フェイスブックと比べて、  
情報を身に入らせる手段の一つとして大切  
に感じられた。阪神・淡路大震災  
の際、新聞が新聞を発行して、内容は  
ほとんど見られなかった。しかし、情報を  
伝えていると感じた。その日の朝刊  
は60%ほど2011年1月に入ってから、着  
いた記事がほとんど見られなかった。驚  
きを感じた。

新聞はデータで別の場所におくら  
れるというので「意外下」なところ  
また、震災の話の中では自分が  
今まで知っていた知識をより深め  
ることになったし、知らない情報  
も多くなり、とても興味深かった。下  
新聞はテレビほどとは違って信頼  
性が高いので、もっと利用して  
いきたいと思います。

新聞は少し難かしいと思っていて  
読むのと思ったことはこれまでにない  
けれど、今日読んでみた感じだと  
子供にも分かるような表現だったので  
これからは機会があれば読みたいと思  
います。

神戸新聞の三好さんから話を  
聞いて毎日、朝刊、夕刊と記  
事を書いたり、取材をしたり、採  
集には、編集や印刷をい  
ることを考えると、7部の新聞にと  
いて、人が聞かなくていいと考  
えたり、すこし存と思いました。  
そして、三好さんの話もとてもお  
もしろく聞かれました。

阪神・淡路大震災が起きたときの  
経験や普段、どんなことをしている  
かなどを知ることができた。  
また、記者の仕事だけでなく、新聞の  
4つの役割や、生の声に耳を傾け  
るなど、どんなことに気を付けて  
取材などを行っているか、詳しく知  
ることができた。  
震災の時の写真を見て、それが  
どこなのか、名前をしっかりと覚え  
ていて、すごいと思いました。

記者は写真をとるのが優先と  
いうことにおどろいた。しかもそれが  
10%で決まっていることにさらにおど  
ろいた。  
自分は取材の方がおどろくと思  
っていたけど、今日話を聞いて編集が1番  
大変なんじゃないかなと思った。たぶん、  
記事がある中でベストな記事を探るのは  
難しいと思った。普段なにげなく  
読んでいた新聞も思っていたより大変  
というのを感じた。

感想

色んなことが知れてとても楽しかった。将来は活字に関する仕事をしたいと思っているので、この講義に参加したのですが、とてもためになりました。是非将来に活かしていきたいと思います。阪神・淡路大震災について、おおまかにしか知らなかったんで、詳しく知れて良かったです。JR六甲道駅はたまに利用しているので、あのようになんかこじなっていたらほんととても驚きました。

阪神・淡路大震災の時のことなどの実体験として具体的なこともおもしろかったです。

毎日見ている新聞がどのようになっているか分かることができました。思っていたよりも多くの人が関心しているらしいです。

感想

動画で新聞がどのようになっているのかわかることができた。様々な工夫が凝らされていて、紙面が作られているのを感じた。震災の話はとても分かりやすく、新聞の関連性を知ることができた。

感想

震災の話、コロナの話どちらも興味深く聞いていてとてもおもしろかったです。震災の話では、ガラスが割れようとしているところの写真を見て、三井の人事に対する必死さを感じることができました。コロナの話では、フェイスブックのこわさ、そして新聞の一覧性について知ることができました。今回、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

原。このご明生代がこまごま印刷の情報を提供してくれている中、記者の方からJTB編集者の方。香附。子。い。ま。D.V.D.で見ることができて、おもしろい。新聞のこともラビでニュースを知ることができ、今後印刷の印刷をしようと思っ